

14時30分解禁

平成20年5月 全国百貨店売上高概況

平成20年6月18日

I. 概況

1. 売上高総額	5,845億円余
2. 前年同月比	-2.7% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	93社 280店 (平成20年4月対比-1店舗)
4. 総店舗面積	6,790,589㎡ (前年同月比:-0.3%)
5. 総従業員数	102,657人 (前年同月比:7.5%)
6. 3か月移動平均値	10-12月 -1.1%、11-1月 -1.3%、12-2月 -1.5%、 1-3月 -1.0%、2-4月 -1.4%、3-5月 -2.4%

[参考] 平成19年5月の売上高増減率は-0.4% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

3か月連続で前年同月比マイナスとなった。

5月は中旬以降の気温低下や週末毎の雨天など不順な天候が影響して、衣料品を中心とした夏物商材が低調だったほか、景気の先行き不安やガソリン・加工食品に象徴されるインフレ懸念など、個人消費にとって厳しい環境と件 (生活防衛意識の高まり) もあり、一部を除き地区別にも商品別にも、多くの分野で前年実績を上回ることができなかった。

昨年同月に比べて土曜日が1日増加したこと、ゴールデンウィーク商戦が比較的好調に推移したこと、化粧品や食料品が活況を維持していることなどプラス要素も見られたが、高額品が引き続き不振であること、母の日のプロモーションが例年ほど盛り上がらなかったこと、大型改装が相次いだ昨年の反動減が出ていること、特に地方都市で郊外型商業施設との競合が激化していることなどにより、最終的には売上減少傾向に歯止めがかからなかった。

なお、マイナス幅については前月4月 (-3.4%) に比べて0.7%改善した。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 上旬末と下旬後半に強い寒気が南下するなど、気温の変動が大きかった。数日の周期で低気圧が通過し、天気は短周期で変わった。また、東日本太平洋側と西日本では多雨となった。

(2) 営業日数増減 30.8日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日 (" +1日・土曜日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した：27店、②変化なし：51店、③減少した：74店、④不明：41店

(5) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)

①増加した：22店、②変化なし：71店、③減少した：25店、④不明：75店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する：17店、②変化なし：76店、③減少する：40店、④不明：60店

全国百貨店 売上高速報 2008年05月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	584,543,813	100.0	-2.7 (-2.5)
10都市	376,116,100	64.3	-2.5 (-1.9)
札幌	14,884,852	2.5	-4.8
仙台	7,928,892	1.4	-2.7
東京	146,942,109	25.1	-2.3 (-0.9)
横浜	32,673,339	5.6	-1.1
名古屋	34,022,090	5.8	-5.8
京都	22,656,244	3.9	-0.8
大阪	72,721,589	12.4	-2.3
神戸	16,092,631	2.8	-1.5
広島	12,401,765	2.1	-3.2
福岡	15,792,589	2.7	-0.6
10都市以外の地区	208,427,713	35.7	-3.2 (-3.4)
北海道	3,724,463	0.6	-6.7 (-15.7)
東北	11,227,797	1.9	-7.0
関東	100,255,868	17.2	-3.2
中部	16,208,509	2.8	-2.9
近畿	18,919,484	3.2	-0.3
中国	15,156,894	2.6	1.4
四国	10,996,414	1.9	-4.2
九州	31,938,284	5.5	-5.0

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	584,543,813	100.0	-2.7 (-2.5)
紳士服・洋品	45,694,533	7.8	-4.5 (-4.5)
婦人服・洋品	141,498,212	24.2	-6.7 (-6.7)
子供服・洋品	16,109,513	2.8	-2.3 (-2.3)
その他衣料品	17,213,923	2.9	-4.0 (-4.1)
衣 料 品	220,516,181	37.7	-5.8 (-5.7)
身のまわり品	79,830,477	13.7	-2.7 (-2.3)
化粧品	30,974,059	5.3	3.1 (3.1)
美術・宝飾・貴金属	29,567,690	5.1	-4.7 (-4.7)
その他雑貨	27,115,510	4.6	-4.4 (-3.6)
雑 貨	87,657,259	15.0	-2.0 (-1.7)
家 具	8,816,235	1.5	-7.5 (-7.3)
家 電	2,132,376	0.4	-5.8 (-5.8)
その他家庭用品	20,652,016	3.5	-1.4 (-1.2)
家 庭 用 品	31,600,627	5.4	-3.5 (-3.3)
生 鮮 食 品	30,133,372	5.2	1.6 (1.5)
菓 子	32,822,531	5.6	4.5 (4.4)
惣 菜	30,890,166	5.3	0.2 (0.2)
その他食料品	38,587,568	6.6	3.0 (4.7)
食 料 品	132,433,637	22.7	2.4 (2.8)
食 堂 喫 茶	16,876,103	2.9	-1.0 (0.8)
サ ー ビ ス	6,162,820	1.1	0.3 (2.1)
そ の 他	9,466,709	1.6	-7.3 (-7.3)
商 品 券	18,534,179	3.2	-9.2 (-9.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | －2.5% (店舗数調整後／3か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | －3.2% (" ／11か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	－2.5	－1.6	3か月連続マイナス
札幌	－4.8	－0.1	9か月連続マイナス
仙台	－2.7	0.0	6か月ぶりマイナス
東京	－2.3	－0.6	3か月連続マイナス
横浜	－1.1	－0.1	3か月連続マイナス
名古屋	－5.8	－0.4	6か月連続マイナス
京都	－0.8	0.0	3か月連続マイナス
大阪	－2.3	－0.3	3か月連続マイナス
神戸	－1.5	0.0	2か月連続マイナス
広島	－3.2	－0.1	3か月連続マイナス
福岡	－0.6	0.0	2か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	－3.2	－1.2	11か月連続マイナス
北海道	－6.7	0.0	7か月連続マイナス*
東北	－7.0	－0.1	2か月連続マイナス*
関東	－3.2	－0.6	11か月連続マイナス
中部	－2.9	－0.1	2か月連続マイナス
近畿	－0.3	0.0	2か月連続マイナス
中国	1.4	0.0	11か月ぶりプラス*
四国	－4.2	－0.1	11か月連続マイナス
九州	－5.0	－0.3	9か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。化粧品・菓子は前年比較を開始して以来17か月連続プラス、生鮮食品が13か月連続プラスとなった。また、惣菜、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.7	-	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.5	-0.4	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.7	-1.7	11か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.3	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-4.0	-0.1	3か月連続マイナス
衣料品	-5.8	-2.2	11か月連続マイナス
身のまわり品	-2.7	-0.4	9か月連続マイナス
化粧品	3.1	0.2	17か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-4.7	-0.2	15か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.4	-0.2	6か月連続マイナス*
雑貨	-2.0	-0.3	3か月連続マイナス
家具	-7.5	-0.1	6か月連続マイナス
家電	-5.8	0.0	5か月連続マイナス
その他家庭用品	-1.4	0.0	3か月連続マイナス
家庭用品	-3.5	-0.2	6か月連続マイナス
生鮮食品	1.6	0.1	13か月連続プラス*
菓子	4.5	0.2	17か月連続プラス*
惣菜	0.2	0.0	3か月ぶりプラス*
その他食料品	3.0	0.2	4か月連続プラス*
食料品	2.4	0.5	5か月連続プラス
食堂喫茶	-1.0	0.0	2か月連続マイナス
サービス	0.3	0.0	3か月ぶりプラス
その他	-7.3	-0.1	8か月連続マイナス
商品券	-9.2	-0.3	11か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成20年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成20年6月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,469億円余
2. 前年同月比	-2.3% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-2.7% (86.6%) : 非店頭0.4% (13.4%) () 内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年4月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	988,659㎡ (前年同月比: 3.0%)
6. 総従業員数	19,401人 (前年同月比: 3.4%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 0.1%、11-1月 -0.6%、12-2月 -0.5%、 1-3月 -0.1%、2-4月 0.3%、3-5月 -1.2%

[参考] 平成19年5月の売上高増減率は0.7%

【5月売上の特徴】

- (1) 雨の多い不順な天候で夏物商材が全般的に苦戦した中、レインシューズや雨傘などレイングッズは好調に推移した。
- (2) 母の日のプロモーションに対する購買動向は、今年の特徴として直近需要型に変化してきている。
- (3) 婦人服のトレンドではワンピースの流行が完全に止まり、売れ筋はブラウス、カットソーなど単品アイテムにシフトしてきている。
- (4) 地方物産展を中心に、各店共催事は好調であった。
- (5) 活況が続く食料品は5月も多くの店で前年をクリアしたが、一部話題性のあるヒット商品もあって特に菓子(+3.7%)が大きな伸びを示した。
- (6) 6月前半のトピックである地下鉄副都心線の影響に関しては、開通直後の動向として、沿線店舗各店で入店客数の増加効果を確認している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 10店、③減少した: 6店、④不明: 3店
- (3) 5月歳時記(GW、子供の日、母の日)の売上(同上)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店、④不明: 13店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 3店、②変化なし: 16店、③減少する: 1店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2008年05月

*店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	146,942,109	100.0	-2.3 (-0.9)
紳士服・洋品	13,748,497	9.4	-3.3 (-3.3)
婦人服・洋品	33,328,528	22.7	-8.1 (-7.5)
子供服・洋品	3,057,027	2.1	-0.3 (0.3)
その他衣料品	3,853,176	2.6	-3.7 (-3.7)
衣 料 品	53,987,228	36.7	-6.2 (-5.8)
身のまわり品	21,393,749	14.6	-1.1 (0.6)
化粧品	7,778,506	5.3	2.8
美術・宝飾・貴金属	8,200,281	5.6	-7.2
その他雑貨	8,913,767	6.1	0.1 (3.0)
雑 貨	24,892,554	16.9	-1.7 (-0.7)
家 具	2,467,216	1.7	-9.9 (-8.9)
家 電	863,276	0.6	-3.7
その他家庭用品	6,013,277	4.1	9.3 (10.4)
家 庭 用 品	9,343,769	6.4	2.2 (3.2)
生 鮮 食 品	4,633,386	3.2	0.7
菓 子	7,637,135	5.2	3.7
惣 菜	6,854,032	4.7	-1.8
その他食料品	9,698,496	6.6	5.5 (13.4)
食 料 品	28,823,049	19.6	2.4 (4.8)
食 堂 喫 茶	4,026,975	2.7	1.6 (9.8)
サ ー ビ ス	1,898,053	1.3	5.4 (12.0)
そ の 他	2,576,732	1.8	-7.1 (-6.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	3,575,053 千円	-14.0
従 業 員 数	19,401 人	3.4
店 舗 面 積	988,659 m ²	3.0

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品、食料品がプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨。化粧品・菓子では17か月連続プラス、生鮮食品が13か月連続プラスとなった。また、その他雑貨、その他家庭用品、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.3	—	3月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.3	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-8.1	-2.0	9か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.3	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	-3.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
衣料品	-6.2	-2.4	3か月連続マイナス
身のまわり品	-1.1	-0.2	2か月連続マイナス
化粧品	2.8	0.1	17か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-7.2	-0.4	7か月連続マイナス*
その他雑貨	0.1	0.0	2か月連続プラス*
雑貨	-1.7	-0.3	2か月ぶりマイナス
家具	-9.9	-0.2	2か月連続マイナス
家電	-3.7	0.0	5か月連続マイナス
その他家庭用品	9.3	0.3	2か月連続プラス
家庭用品	2.2	0.1	3か月ぶりプラス
生鮮食品	0.7	0.0	13か月連続プラス*
菓子	3.7	0.2	17か月連続プラス*
惣菜	-1.8	-0.1	2か月連続マイナス*
その他食料品	5.5	0.3	4か月連続プラス*
食料品	2.4	0.4	5か月連続プラス
食堂喫茶	1.6	0.0	2か月ぶりプラス
サービス	5.4	0.1	2か月連続プラス
その他	-7.1	-0.1	19か月連続マイナス
商品券	-14.0	-0.4	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド